

| 1. 基本情報 | | | 評価対象年度 (29 年度) | | | | | |
|------------|--------|------------------------------------|-----------------|-------------------|--|------|--------|--|
| 施策コード | 411 | | 施策名 | 適切な土地利用の推進と住環境の整備 | | | | |
| 将来像 | 4 | 豊かな自然と調和した住みややすく活気あるまち(「基盤づくり」の分野) | | | | | | |
| まちづくりの基本目標 | 41 | 快適で住みやすいまち | | | | | | |
| 主担当部 | 都市整備部 | | 主担当課 | まちづくり課 | | 主担当係 | まちづくり係 | |
| 担当者 | 佐々木 秀貴 | | 役職 | 都市整備部長 | | 内線 | 360 | |
| 関係課 | 道路交通課 | 水と緑の環境課 | | | | | | |

| 2. 施策の方向 | |
|----------|---|
| 10年後の姿 | 豊かな自然環境に配慮した快適なまちづくりが進められ、地域の特性を活かした調和のとれたまちなみが広がっています。 |
| 施策の方向性 | 1 住みやすく快適なまちをつくります 2 清瀬らしさを実感できる景観の保全・空間の整備を進めていきます |

| 3. 構成事業の状況 | | | (単位:千円) | | | | |
|-------------|--------------|------|---------|---------|----------|----------|----------|
| No. | 事務事業名 | 実行計画 | 施策の方向性 | 担当課 | 平成28年度決算 | 平成29年度決算 | 平成30年度予算 |
| 0108030102 | 都市計画審議会等活動事業 | | すべて | まちづくり課 | 242 | 280 | 350 |
| 0108030105 | 都市計画推進事業 | 対象 | すべて | まちづくり課 | 2,309 | 5,872 | 14,971 |
| 0108030106 | 土地取引届出事務事業 | | 1 | まちづくり課 | 52 | 115 | 86 |
| 0108040102 | 市営住宅管理事業 | | すべて | まちづくり課 | 8,380 | 5,266 | 10,801 |
| 0108010106 | 屋外広告物事業 | | 2 | 道路交通課 | 905 | 905 | 907 |
| 0108030505 | 花のあるまちづくり事業 | | 2 | 水と緑の環境課 | 7,315 | 6,532 | 6,550 |
| 0108030506 | 椅子のあるまちづくり事業 | 対象 | 2 | 水と緑の環境課 | 149 | 143 | 615 |
| 0108030515 | 街路樹景観整備事業 | 対象 | すべて | 水と緑の環境課 | 14,938 | 15,693 | 2,500 |
| 総事業費(施策の合計) | | | | | 34,290 | 34,806 | 36,780 |

| 4. まちづくり指標 | | | 指標情報 | | | | | |
|------------|------|-----------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|------|
| | | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成32年度 | 平成37年度 | |
| ① | 名称 | 地区計画の策定数 | 目標値 | 3 | 3 | 5 | 5 | 7 |
| | 説明 | 単位 件 | 実績値 | 3 | 4 | | | |
| | 抽出方法 | | 達成率 | 100.0% | 133.3% | | | |
| ② | 名称 | 清瀬市の住環境は快適で自然への配慮と調和がとれていると思う人の割合 | 目標値 | — | — | — | 58.0 | 60.0 |
| | 説明 | 単位 % | 実績値 | — | 56.6 | | | |
| | 抽出方法 | 清瀬市に住み続けたいと思う人の割合(世論調査) | 達成率 | — | — | | | |

| 5. 評価(平成29年度実績に対する) | | 評価理由 |
|---|-----------------------|------|
| 評価基準 | 評価※ | 評価理由 |
| 投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価 | 総合評価(成果、投入財源等を総合的に評価) | 維持 |
| 10年後の姿である豊かな自然環境に配慮した快適なまちづくりや地域の特性を生かしたまちなみが広がっている姿を達成していくための構成事業については、全てが継続事業であるが、概ね計画通り進んでいる。平成29年度は野塩都営住宅建て替えにおける地区計画の策定及び東3・4・15の2号線の沿道地区計画の策定に向けて、検討を行った。これは今後の土地活用において、将来像である活気あるまち及び10年後の姿につながる一つである。また、けやき通りのケヤキについて、安全安心に配慮した上での剪定が全て終了し、今後の清瀬らしさを実感できる景観の保全・空間の整備につながっていく。 | | |

※順調「10年後の姿」の達成に向け、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している
 維持「10年後の姿」の達成に向け、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある
 停滞「10年後の姿」の達成に向け、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

| 外部要因 | 状況 | 外部要因に対する評価 | 評価理由 |
|-----------|--|----------------|--|
| 市民ニーズの状況 | 高木化した街路樹の対応や雑木林の樹木の適正な管理が求められている。 | 1. 施策遂行に役立つ・有利 | けやき通りのケヤキを将来にわたって残していくため、平成25年度より実施した、安全安心に配慮した上での剪定を平成29年度にて全て終了した。同様に、他の街路樹についても、公共緑地にふさわしい樹木の在り方を検討していく必要がある。 |
| 将来人口の推移 | 少子高齢化の進行により人口が減少する。 | 2. 施策遂行に不利 | 宅地開発が減少することで住宅街としての発展が滞ってしまうこと、また、既存の住宅が空き家になってしまうことなどの懸念がある。 |
| 法・制度改正の動向 | 東京都と28市町で連携・協働し、「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」を策定した(平成28年3月公表)。 | 1. 施策遂行に役立つ・有利 | 東村山3・4・15の2号線が東京都施行優先整備路線(今後10年間で優先的に整備すべき路線)として挙げられており、地区計画の策定等の必要性を高める。 |

7. 施策を進める上での課題

| | | | | |
|---|-------------|---|--------------|--|
| ① | 施策を進める上での課題 | 都市計画道路の整備に向けて事業を実施しているが、完成後の周辺土地利用の検討が必要である。また、一定規模の店舗や事業所の誘導などを可能とする面的整備を伴う土地利用が課題である。しかし、現行の都市計画マスタープランにこれらの土地利用方針が記載されていないため、検討が必要である。 | | |
| | 関連する事務事業名 | 都市計画推進事業 | 都市計画審議会等活動事業 | |
| | 現在の取組状況 | 平成30年度より庁内検討委員会及び外部検討委員会にて都市計画マスタープランの改定に向けて検討している。 | | |
| | 平成31年度以降の取組 | 平成31年度の都市計画マスタープラン改定に向けて引き続き検討する。また、策定した都市計画マスタープランを基に、都市計画道路整備状況に併せて周辺の土地利用や一定規模の店舗や事業所の誘導を検討する。 | | |
| ② | 施策を進める上での課題 | 小規模な開発により通り抜けできない道路や接道条件が悪く土地利用転換が困難等の問題があるため、一定規模を面的に都市基盤整備していく必要がある。 | | |
| | 関連する事務事業名 | 都市計画推進事業 | | |
| | 現在の取組状況 | JAや東京都農住都市支援センターが実施している小さな区画整理の研修会に参加し、土地区画整理事業の仕組みや事例地等により情報収集を行っている。 | | |
| | 平成31年度以降の取組 | 引き続き、情報収集するとともに、小さな区画整理が実施されるよう、地権者への周知や他市の事例を参考に、市としてどのような支援が可能か検討する。 | | |
| ③ | 施策を進める上での課題 | けやき通りの街路樹は、歩道の隆起改修もあることから道路整備と併せて一体的に管理する必要がある。 | | |
| | 関連する事務事業名 | 街路樹景観整備事業 | | |
| | 現在の取組状況 | 市のシンボルであるけやき通りのケヤキは高木化し過ぎたため、倒木の危険性や根っこによる歩道の隆起などの課題が生じていたため、樹高強剪定を平成25年度から5年間ですべて剪定した。今後は平成30年度策定する公共の緑の管理方針において、けやき通りの街路樹の在り方を示す。 | | |
| | 平成31年度以降の取組 | 公共の緑の管理方針に基づき、計画的な維持管理を行う。 | | |